

営主体となる医療機関を探索努力をしていく。

(健康づくり課)

**問** 国は医療機関縮減の方針を示しているので、医療機関探しは困難が予測される。榑川地区住民の診療所継続の思いは切実。再度聞くが、直営の意思表示はできないか。

**答** 応募していただける医師がいて条件を整えば、市直営もやぶさかではない。

(市長)

### ◆発達障害への支援

**問** 発達障害は外見から認知されにくく、適切な支援を得られないまま社会生活に支障をきたしている事例が多い。障がい者本人とその家族に対し、どのような支援体制をとっているか。

**答** 学校の支援体制強化のために全教職員対象に研修を行っている。また、課内に指導主事を配置し、相談・支援体制をとっている。

家庭へは、18歳まで切れ目のない支援のため「元気っ

子応援事業」を行い、卒業後は福祉課が窓口となる。

市として、差別・偏見を取り除くため、啓発広告、援助・配慮の必要性を訴えるヘルプマークの周知などを行い、障がい者とその家族が安心して暮らせるよう努めていく。

(家庭支援課)



「次代へ遺す文化財」奈良井中村邸

### 清風クラブ

質問者

平間 正治

中野 重則



持ち時間90分

多くの声を聴いて、

民主的な行政運営を!!

◆通学校選択地域提案の経

過について

**問** 少子化により総体的に児童生徒は減少しているが、とりわけ塩尻西小学校においては市の中心部にありながらも児童数の減少が続いており、適正な学校運営にも影響を及ぼしそうな状況となっている。

平成29年に設けた通学区域審議会では結論が得られず、その後引き続き地元大門七区との調整を進めることとなっていた。しかし、そうした調整も何もない中で、いきなり塩尻西小学校に近い大門七区の一部について、従来の桔梗小学校が塩尻西小学校かを選択できる地域とする案が市教育委員会から示された。

地元や大門全体からも慎重に対応する意見が出されると、すぐにこれを撤回するという前例のない対応がなされたが、この経過はどうだったのか。

**答** これまでは地域を特定することのない「指定校変更」を検討してきたが、今



児童数が減少の塩尻西小学校

皆さんが心配している。通学区変更などを含め、しっかりと検討し皆さんの同意を得ていくことが大切である。手順を踏んだ手続きとしてほしい。

◆チロルの森閉園後の対応について

**問** 信州農業公園チロルの森は、本年のコロナ禍もあって11月29日をもって閉園となった。

チロルの森本体の閉園に伴い市など第3セクターで運営する施設も休止となったが、営業補償などが本体側(株ワールドインテック側)に生じるのか。

また、今後の利用について、現段階では未定であるが、市(第3セクター)が運営してきた施設を取り壊さなければならなくなった場合、その費用はどこが負担するのか。

**答** 市の施設は廃止するものではなく、休止であり、補償などは生じない。

また、取り壊しとなった